

(19)日本国特許庁(JP)

(12)公 開 特 許 公 報(A)

(11)特許出願公開番号
特開2025-43438
(P2025-43438A)

(43)公開日
令和7年4月1日(2025. 4. 1)

(51)Int.Cl.
H 0 4 J 99/00 (2009. 01)
H 0 4 B 7/0452 (2017. 01)
H 0 4 W 16/28 (2009. 01)

F I
H 0 4 J 99/00
H 0 4 B 7/0452
H 0 4 W 16/28 1 3 0

テーマコード (参考)
5 K 0 6 7

		審査請求 未請求 請求項の数 8 O L (全 41 頁)	
(21)出願番号	特願2023-150697(P2023-150697)	(71)出願人	000004226 日本電信電話株式会社 東京都千代田区大手町一丁目5番1号
(22)出願日	令和5年9月19日(2023. 9. 19)	(71)出願人	598015084 学校法人福岡大学 福岡県福岡市城南区七隈8丁目19番1号
		(71)出願人	304020177 国立大学法人山口大学 山口県山口市吉田1677-1
		(74)代理人	110001634 弁理士法人志賀国際特許事務所
		(72)発明者	岩國 辰彦 東京都千代田区大手町一丁目5番1号 日 本電信電話株式会社内
		最終頁に続く	

(54)【発明の名称】 連携無線通信装置、無線通信システム、空間多重無線伝送方法及びプログラム

(57)【要約】

【課題】連携する複数の無線通信装置の各々において、スル空間拡張技術を利用する。

【解決手段】非連携無線通信装置から空間多重伝送により受信した信号、または、非連携無線通信装置に空間多重伝送により送信しようとする信号に関する情報であって、他の連携無線通信装置との間で共有する共有情報を空間多重伝送とは異なる通信手段で他の連携無線通信装置に送信する共有情報送信部と、非連携無線通信装置のアンテナ素子、または、当該アンテナ素子を合成して得られる仮想的なアンテナ素子と、自らを含む連携無線通信装置のアンテナ素子との間のチャネル情報より生成する第1チャネルベクトルと、第1チャネルベクトルよりも過去に生成した1つまたは複数の第2チャネルベクトルと、を並べたチャネル行列に基づいて、空間多重伝送の際に用いられるウエイトベクトルを算出するウエイト算出部と、を備える連携無線通信装置。

【選択図】図8

